

波音 はのん

～浅羽包括便り～ 冬号

新年あけましておめでとうございます。
 昨年中は大変お世話になりました。
 本年も、より一層のご支援を賜りますよう、
 職員一同心よりお願い申し上げます。



浅羽地域包括支援センター

《お問い合わせ》

浅羽地域包括支援センター
 袋井市浅羽4140

TEL:0538-23-0780



あなたを狙う悪質商法が増えています！！

人ごとではなく『自分のこと』

「だまされる人は、どこかスキがある人」

「自分は大丈夫」

そんな風に思っていないですか？

実は、悪質商法が狙う人は自分に自信がある人だったりします。

悪質商法の被害にあわないために、人ごとではなく自分のこととして認識しましょう。

実際、被害にあってしまったときには、早めに気付くこと、誰かに相談することが大切です。



断るポイント①【遠慮しない】

- ・ 突然の訪問には対応しない
- ・ 電話は「留守電」だと安心

突然だと
動揺してしまって...



- ・ 「無料に飛びつかない」
- ・ 「すぐ」断る

突然だと
動揺してしまって...



- ・ 契約は慎重に。「よく考える」
- ・ きっぱり断る

断られても業者はめげません。
遠慮なく断りましょう



断るポイント②

【あいまいな返事や言い回しに注意】

- 「いりません」「興味ありません」
- × 「いいです」「結構です」

YES...ってことですね



- お断りします
- × 「今忙しいので」「考えておきます」

じゃあ後日また伺いますね



- 「リフォームしません」
- × 「キッチンのリフォームをする気はありません」

キッチン以外のリフォームはする気
あるんですね



認知症等の高齢者に関する 消費生活相談件数とその特徴

認知症等高齢者においてトラブルの高齢化が急速に進んでいます。相談者の内訳では、家族やホームヘルパーなど、本人以外からの相談が約8割を占めています。

認知症等高齢者の消費者被害の特徴には、「被害に遭っていることに気付きにくい」ことがあります。

被害に気付かないことから契約を繰り返して被害が深刻化するほか、「被害に遭ったことを恥ずかしいと感じ、家族に迷惑を掛けたくないと思ったり、自分自身を責めたりして周りに相談しない」、「一人暮らしで相談する相手がいない」など、被害が表面化しにくく、周囲が気付くのが遅れることもあります。

認知症等高齢者や障がい者等の見守りが重要

少子高齢化社会

- ・一人暮らし世帯
- ・高齢者のみ世帯
- ・認知症高齢者

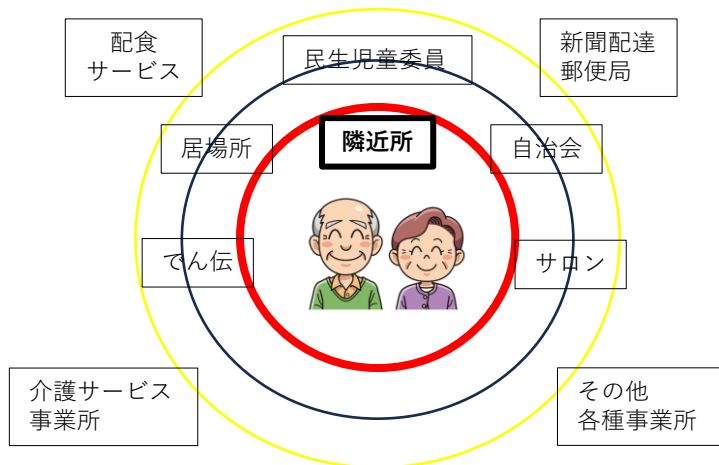
人と人との
つながりが
希薄化



見守り

見守りとは『つなぐ』活動

見守りネットワークは、誰でも参加でき、身近な地域の中で、お互いの“さりげない気づかい”や“ちょっとした目配り”で、高齢者の健康、安否などに気を配り、何かあったら関係機関へつなぎ、支援する仕組みを構築する取り組みです。



高齢者総合相談窓口：浅羽地域包括支援センター 23-0780
その他の相談：袋井市社会福祉協議会 43-3020
袋井市消費生活センター 44-3174

見守り方法

住宅の様子から 異変のサイン

- ・新聞や郵便物が溜まっている
- ・暗くなっても電気がつかない
- ・ここ数日姿を見ていない

認知症が 疑われるサイン

- ・不自然な服装で歩いている
- ・自宅への帰り道がわからない様子

消費者トラブルが 疑われるサイン

- ・見かけない人が出入りしている様子がある。

虐待が 疑われるサイン

- ・最近怒鳴り声がよく聞こえる
- ・転倒していないのにアザが多い